



COSWHEEL MIRAI

COSWHEEL MIRAI /MIRAI S

取扱説明書 合本版



ご使用前には必ず取扱説明書をよく読んで下さい。

目次

目次	01
はじめに	02
公道走行にむけての準備①	03
公道走行にむけての準備②	04
公道走行にむけての準備③	05
安全上のご注意①	06
安全上のご注意②	07
安全上のご注意③	08
各部の名前①	09
各部の名前②	10
組立① ハンドル部の取り付け	11
組立② 前ウィンカー・ヘッドライトの取り付け	12
組立③ 前車輪の取り付け	13
組立④ ペダルの取り付け	14
組立⑤ バックミラーの取り付け	15
組立⑥ 前輪フェンダーの取り付け	16
組立⑦ コード類のまとめ	17
充電の仕方	18
バイクの乗り方 電源の入れ方 操作の仕方①	20
バイクの乗り方 電源の入れ方 操作の仕方②	21
ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行	22
日常点検チェック	23
点検・整備項目	24・25
故障かなと思ったら	26
製品仕様	27
製品保証	29
保証書	30
リアウィンカーリレーを外す方法	31
補足 拡張パーツについて	32

はじめに

●COSWHEEL MIRAI シリーズをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくお使いください。

当製品は、予告なく仕様、デザインを変更する場合がありますので、一部実車と異なる場合があります。

この取扱説明書では、COSWHEEL MIRAI / MIRAI S / MIRAI Tの取扱い方法を説明しています。

※製品の仕様変更などにより本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。

※この取扱説明書の記載内容については予告なしに変更することがあります。

※本製品を贈呈や貸与する場合は本書及び購入時に添付されていた書類一式を必ず製品に添付して下さい。

※返品・交換、修理の際、発送ができるように当製品が梱包されていた段ボールは可能な限り捨てずに保管して下さい。

警告表示について

●安全に関する表示

運転される方、その周囲の方々へ、事故やけがを未然に防止するために、安全に関する下記の表示をしています。本書に記載されている警告・注意を必ずお守りください。

▼表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明します。



警告

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



メモ

正しくご使用いただくためのポイントを記載しています。



警告

- ・異常を発見した場合は、速やかに販売店にご相談ください。
- ・変形、ひび割れなどの損傷がある部品は必ず交換してください。

公道走行にむけての準備①

●法律遵守と保安基準

道路交通法と保安基準に適合する保安部品は標準装備しております。

・前照灯・番号灯/尾灯・警音器・後写鏡・制動灯・方向指示器(前後ウィンカー)・速度計

警告

●公道走行にあたり注意事項 電動3WAYバイク“COSWHEEL MIRAI / MIRAI S”

“COSWHEEL MIRAI / MIRAI S”はバイク(原付及び原付二種)に該当するため、使用時は自転車・ハイブリッド・電動バイクどのモードでも電源をONにし、前後ライトを点灯する必要があります。電源がOFFの状態での使用は認められておりません。

“COSWHEEL MIRAI / MIRAI S”はペダルが装着されていることから一般的な自転車と同様に思われるかもしれませんが、当製品はバイク(原付及び原付二種)です。くれぐれも自転車ではなく、バイクとご理解ください。公道走行時にはナンバー登録と取付、免許証の携帯、ヘルメットの着用、自賠責保険証明書の携帯が義務付けられています。道路交通法を遵守し、安全運転を心がけてください。

※電動3WAYバイク“COSWHEEL MIRAI”は法律上、いわゆる「原付二種」扱いとなります。

「小型限定普通二輪免許」以上の(AT小型限定普通二輪免許でも可)免許の携帯が必須です。

※電動3WAYバイク“COSWHEEL MIRAI S”は法律上、いわゆる「原付」扱いとなります。

「原動機付自転車免許」以上の免許の携帯が必須です。

警告

●公道走行にあたり注意事項 電動キックボード“COSWHEEL MIRAI T”

“COSWHEEL MIRAI T”は*現法律上、原動機付自転車に該当します。

くれぐれも原動機付自転車(原付)と同様の扱いとご理解ください。公道走行時にはナンバー登録と取付、免許証の携帯、ヘルメットの着用、自賠責保険証明書の携帯が義務付けられています。道路交通法を遵守し、安全運転を心がけてください。

*2022年5月31日現在

※電動キックボード“COSWHEEL MIRAI T”は法律上、いわゆる「原付」扱いとなります。

「原動機付自転車免許」以上の免許の携帯が必須です。

公道走行にむけての準備②

●ナンバープレートの取得について

市町村役場にて無料で当日ナンバープレートを取得できます。申請書の記入例は裏面をご覧ください。

※取得のタイミングは役場によって異なる場合がございます。

“標識交付証明書”が交付されます。こちらは自賠責保険の加入に必要なので大切に保管して下さい。

▼必要な持ち物

- ・印鑑
- ・身分証明書（運転免許証や、住民票など。詳しくは役場にお問い合わせください）
- ・販売証明書

▼販売証明書の記入について

販売証明書には、車体番号・車体の色、ご購入者様情報（ご住所、お名前、お電話番号）をご記入、ご捺印お願いします。



メモ

●COSWHEEL MIRAI / MIRAI Sの車体番号印字箇所



●車体番号は左図の位置にあります。15桁の数字です。（収納されていた段ボール外箱にも記載ございます）

※各役所により異なる場合がございますので役所の指示を優先して下さい。

※販売ロットにより文字列が異なる場合がございますので、すべての文字列を書き写すか、お写真を撮って役所へ行かれることをおすすめします。

●COSWHEEL MIRAI Tの車体番号印字箇所



●車体番号は左図の位置にあります。

※各役所により異なる場合がございますので役所の指示を優先して下さい。

※販売ロットにより文字列が異なる場合がございますので、すべての文字列を書き写すか、お写真を撮って役所へ行かれることをおすすめします。

安全上のご注意①

警告 バッテリー / 充電アダプタについての注意事項①

- 電源プラグや充電プラグを濡れた手で抜き差ししない。
 - ・感電するおそれがあります。
- 電源プラグや充電プラグは根元まで完全に差し込む。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- 火の中に入れたり、加熱したりしない。
 - ・火災や破裂により怪我をするおそれがあります。
- 窓を閉め切った車中や直射日光の当たる所、高温になる所にバッテリーを放置しない。
 - ・火災や破裂により怪我をするおそれがあります。
- 屋外や雨に濡れる所や浴室・洗面台など水野かかる場所で充電したり、保管・放置しない。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- 充電アダプタ・コード・プラグが傷んだものは使用しない。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- 幼児の手の届く所に置かない。
 - ・感電や怪我のおそれがあります。
- 分解や改造はしない。
 - ・感電や怪我のおそれがあります。改造は自己責任となり、保証対象外になります。
- 端子間に金属などを接触させない。また、針金などの金属の上に置いたり、一緒に保管・放置しない。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- バッテリーを長期間放置しない。
 - ・長期間の保管はバッテリー劣化の原因となります。目安として3ヶ月に1回は充電して下さい。
- バッテリー・充電アダプター・コードは専用のため、他の機種やその他の用途に使用しないこと。
 - ・火災や破裂により怪我をするおそれがあります。
- バッテリーを充電する場合は、専用の充電アダプタを使用し、指定の充電条件を守る事。
 - ・他の充電機器を使用すると、火災やバッテリーの破裂により怪我をするおそれがあります。
- 電源はAC100～240V (50/60Hz) を使用する事。また、コンセントやコードは定格内で使用する事。
 - ・定格外のものを使用すると火災のおそれがあります。
- 充電中、バッテリーやアダプタの放熱を妨げない事。上に物を置かない事。
 - ・火災のおそれがあります。

安全上のご注意②

警告 バッテリー / 充電アダプタについての注意事項②

- 塵やほこりの多い場所で充電したり、保管しない事。
 - ・火災のおそれがあります。
- 充電中はバッテリーやアダプタに皮膚が長時間触れないこと。
 - ・低温やけのおそれがあります。
- バッテリーやアダプタは平な所へ置く事。
 - ・バッテリーやアダプタが落下し、怪我をするおそれがあります。
- コードを持ってバッテリーやアダプタを持ち上げたり、抜き差ししない事。
 - ・コードが傷つき、感電や火災のおそれがあります。
- コードやプラグをショートさせない事。
 - ・火災のおそれがあります。
- バッテリーやアダプタを落下させたり、衝撃を与えたりしない事。
 - ・バッテリーやアダプタが破損し、火災のおそれがあります。
- コードを破損させない事。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- プラグにゴミや土、油がつかないようにする事。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- お手入れの際、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉などは使用しない事。
 - ・部品が傷つき、火災のおそれがあります。
- 長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと。
 - ・感電や火災のおそれがあります。
- 一般のゴミと一緒に捨てない事。
 - ・火災や破損により怪我をするおそれがあります。破棄する際は自治体にご確認下さい。
- 万一、バッテリーから液が漏れた場合は以下の注意事項を守る事
 - ・皮膚や衣服につけないように注意する。・目に入った場合、皮膚についた場合は直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
- バッテリーやアダプタが以下の時には、速やかに使用中止し、購入の販売店へ連絡する事。
 - ・水没させた時・内部に水や異物が入った時・落下させた時・強い衝撃を受けた時・ケースが破損した時・異音が発生した時・発煙があった時・異臭がした時

安全上のご注意③

警告 走行する際等の注意事項

- 操作スイッチを「ON」にしたまま、駐車、停止、バイクの押し歩きをしない。
 - ・足や荷物がペダルに触れると電動補助力が働き、転倒やケガのおそれがあります。
- 走行中に操作スイッチを操作する場合、注意を払う事。あるいは停止してから行う事。
 - ・転倒や事故のおそれがあります。
- バイク車体やアシストユニットを分解、改造しないこと。
 - ・感電や怪我をするおそれがあります。
- ブレーキが濡れている状態で走行しない。

ブレーキが濡れている場合、効きが悪くなりますのでブレーキを十分に乾燥させてからご使用ください。

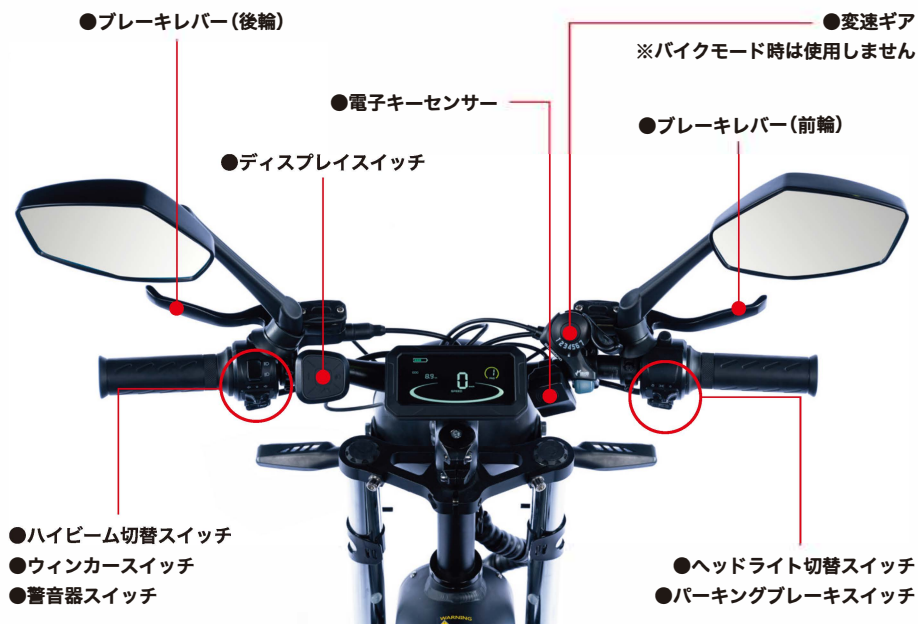
注意

- 走行中に異音が発生したり、異常だと思ったら使用を中止して販売店で点検・整備する事。
 - ・そのまま使用を続けると事故の原因となるおそれがあります。
- 必ず平らな場所に駐輪すること。
 - ・平な場所に駐輪しないと、車体が倒れて怪我や故障するおそれがあります。
- 走行直後はアシストユニットに触れないこと。
 - ・アシストユニットが高温になっている事があり、やけどのおそれがあります。
- 雨等、水がかかる場所に置かないこと。
 - ・車両は防水構造になっていますが、完全防水ではありません。多量の水が集中的にかかるような場所へ置かないで下さい。屋根がない場所での保管はカバーをかける等対策をして下さい。故障の原因となります。

⊗ 各部の名前①



各部の名前②



組立の仕方 動画 組立前にはまずご覧ください。



▲COSWHEEL MIRAI / MIRAI S組立動画
<https://youtu.be/OJ6GS-vlGeA>

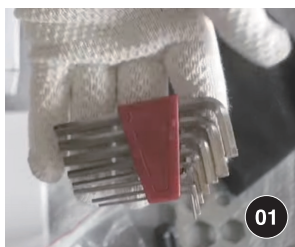


▲販売店様 提供 組立動画
<https://youtu.be/ruvq3JVo3wU>

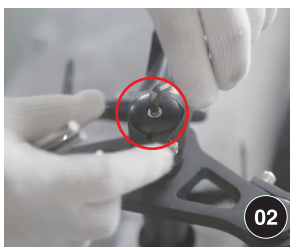
⊗ 組立① ハンドル部の取り付け

メモ

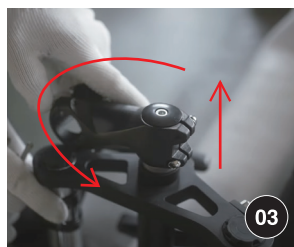
前輪のタイヤを取り付けるまで、ブレーキレバー（前輪）を握らないよう注意して下さい。油圧ブレーキの為ブレーキディスクがセットされていない状態でレバーを握ってしまうと、ブレーキパッドが戻らなくなり、そのままでは前輪の取り付けが出来なくなります。



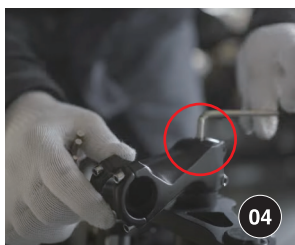
➤ 六角レンチを用意します



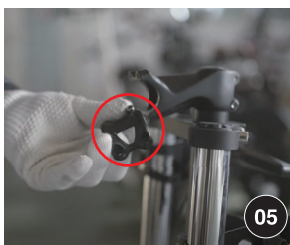
➤ 六角レンチを使用しネジを緩めてください。



➤ 少し引き上げてから、180°回転させます。



➤ ②で緩めたネジを締め直します。



➤ ネジを4つ外し、部品を取り外します。



➤ ハンドルを取り付け、⑤で外した部品を元に戻します。



➤ ネジをしっかり締めて、ハンドルの取り付け完了です。

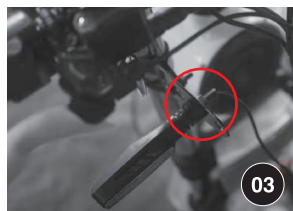
⊗ 組立② 前ウィンカー・ヘッドライトの取り付け



➤ 左右のウィンカーを180°回転させます。



➤ 左右とも写真のネジをドライバーで締めます。



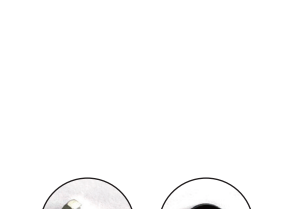
➤ 左右とも写真のネジをしっかり締めます。



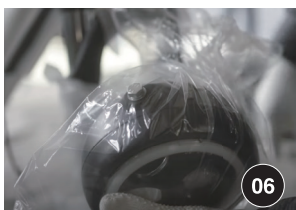
➤ 左右それぞれ車体から出た赤色のコードとつなぎます。



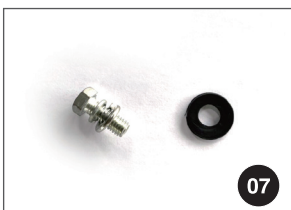
➤ 反射板は写真のように左右取り付けます。



➤ 写真を参考に取り付けます。



➤ ヘッドライトを用意します。



➤ ヘッドライトからネジ・ワッシャーを取り外します。



➤ 写真を参考に取り付けます。



➤ 工具を使用し、ネジをしっかり締めます。



➤ ヘッドライトと車体からの黒色コードを繋ぎます。

組立③ 前車輪の取り付け

メモ

前輪のタイヤを取り付けるまで、ブレーキレバー（前輪）を握らないよう注意して下さい。油圧ブレーキの為ブレーキディスクがセットされていない状態でレバーを握ってしまうと、ブレーキパッドが戻らなくなり、そのままでは前輪の取り付けが出来なくなります。

前輪を取り付ける際、ブレーキの「ディスク」になるべく衝撃を与えないようにご注意下さい。ディスクが変形しますと、ブレーキ時に異音が発生する可能性があります。



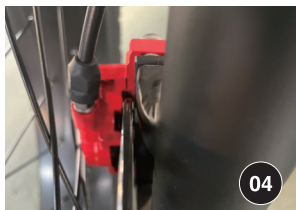
➤ 前輪を用意し、中軸についている部品を取り外します。上写真の2つの部品を使用します。



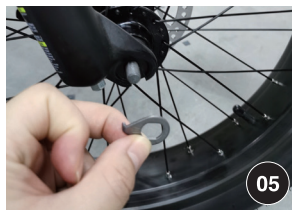
➤ ブレーキパッドに挟んである黒い部品を取り外します。



➤ 写真を参考に前輪を取り付けます。



➤ ディスクの位置はブレーキパッドで挟むイメージです。



➤ 写真の部品を取り付けます。



➤ 写真のようになります。



➤ ナットを取り付けます。反対側も同様です。



➤ 工具を使用し、ナットをしっかり締めます。

▷次ページ
MIRAI 組立動画の案内
ご参考下さい

組立④ 前車輪の取り付け・ブレーキの調整

メモ

前輪の取り付けに関しまして、下記の弊社販売代理店からの提供動画をご参考下さいますとスムーズに取り付け可能です。取り付け前にぜひご覧くださいませ。

前輪のブレーキに関しまして、工場より調整した状態での出荷をしておりますが、運送中の接触等により、微妙にずれて異音が発生する場合がございます。前輪の取り付けと合わせまして下記の動画をご参考いただきまして、ご調整下さいますようお願いいたします。

▼弊社販売代理店様 提供動画



MIRAI 組立動画 04

<https://youtu.be/adqCK6Y5qg8>



MIRAI 組立動画 05

<https://youtu.be/895KFVN2UVw>



MIRAI 組立動画 06

https://youtu.be/kmSXG2_hRfY

組立④ ペダルの取り付け

メモ

ペダルのねじ部先端にR/Lの印字がございます。(R：右側用 L：左側用)

無理矢理最初から工具で取り付けると、ネジ孔のネジ模様を壊す場合がございます。手で少し固定できてから工具を使用して下さい。

▼右側用ペダル固定

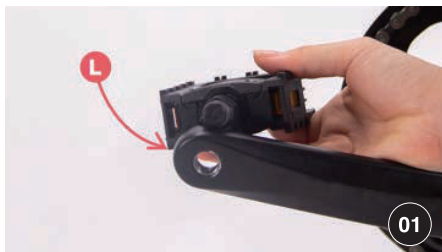


➤ 手で回転軸を時計回りで回しながら少し差込口に入れます。



➤ 工具を使ってしっかり固定します。

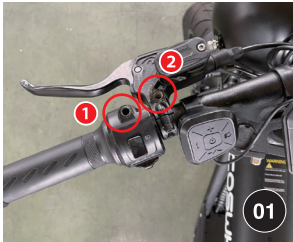
▼左側用ペダル固定



➤ 右側と同様の操作となりますが、回り方向は反時計回りとなります。



組立⑤ バックミラーの取り付け



➤ ①の穴に、バックミラーを取付けます。



➤ 写真のように、奥まで押し入れてください。左右とりつけて完成です。



➤ 微妙な角度の調整ができない場合は工具を使用します。



➤ ネジを4つ少し緩めます。



➤ ハンドルごと回転させ、まずはミラーの角度を調整してください。



➤ 緩めたネジを締めます。



➤ その後、ディスプレイ等各操作パーツの角度調整は、それぞれ固定されているネジを緩めて調整してください。

組立⑥ MIRAI 前後フェンダーの取り付け



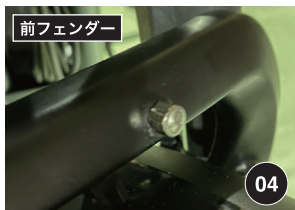
01 フェンダーを用意します



02 金具を垂直に立てて下さい



03 箱より写真の部品を取り出します。



04 表側：写真を参考にに取り付けます。



05 裏側：写真を参考にに取り付けます。



06 赤丸のネジを用意します。



07 写真を参考に裏に六角ネジ、表にワッシャー・ナットを取り付けます。



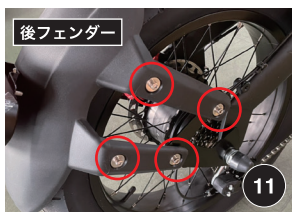
08 裏を六角で固定しながらナットを締めます。



09 裏を六角で固定しながらナットを締めます。



10 両サイド、同様にに取り付けて完成です。



11 リアは左右合計8箇所のネジを締め直して下さい。

組立⑥ MIRAI S 前後フェンダーの取り付け



商品発送上の都合で金具は曲がっています。全ての金具を垂直に立てます。



箱より写真の部品を取り出します。



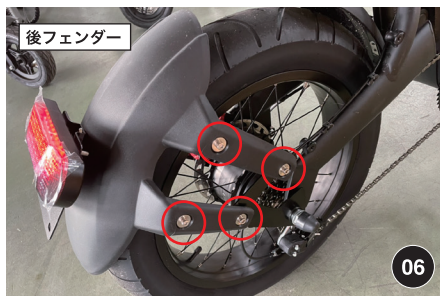
表側：写真を参考に取り付けます。



裏側：写真を参考に取り付けます。

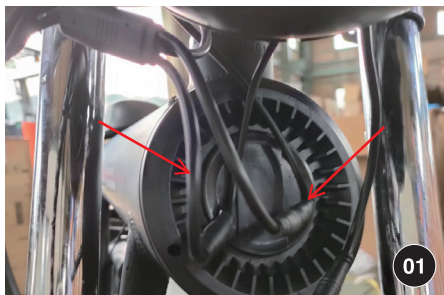


ペンチ等で反対側を固定しながら六角レンチを回し、しっかり固定して下さい。



リアフェンダーは左右合計8箇所のネジに緩みがあるか確認し、締め直してください。

組立⑦ MIRAI コード類のまとめ



➤ 組み上げ後の写真です。コード類がバラバラです。



➤ 同封しているこの部品を使用します。

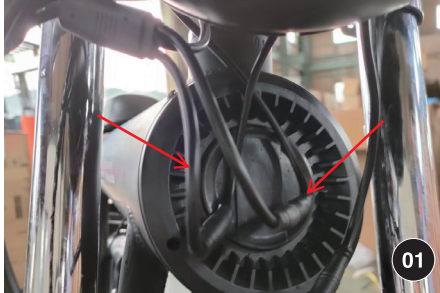


➤ 写真を参考に取り付けます。くるくると巻きつけるように取り付けます。



➤ コードをまとめて完成です。ハンドルをいっぱいにぎって、コードが干渉しないかチェックして下さい

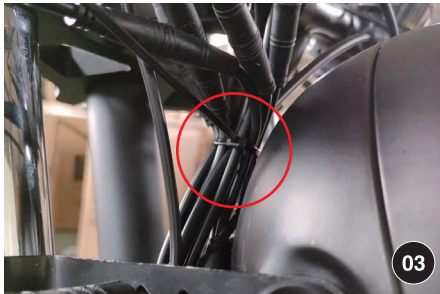
組立⑦ MIRAI S コード類のまとめ



➤ 組み上げ後の写真です。コード類がバラバラです。



➤ 同封している結束バンドを使用します。



➤ 写真を参考に取り付けます。



➤ 写真を参考に取り付けます。



➤ 完成です。

⊗ 充電の仕方

- ⓘ **注意** 車体を持ち上げる際、バッテリーの取手を持つ事は控えてください。バッテリーを出し入れする為の取手です。負荷がかかりすぎると、取手が破損する場合がございます。
- ⓘ **注意** 携帯用バッテリー等で充電しながらの走行はできません。バッテリー並びに、本体の故障の原因となります。

▼バッテリーを取り外さない充電



➤ 家庭用100Vで充電できます。



➤ 金具カバーを回転させ、電源を差し込んでください。



➤ 赤は充電中、充電完了時で緑になります。

▼バッテリーを取り外して充電



➤ バッテリーロック専用キーでロックを解除します。



➤ 取手を持ち、平行に引き抜きます。



➤ お好きな場所で充電してください。

- ⓘ **注意** バッテリーを本体装着後は必ず鍵でロックをしてからご走行下さい。ロックをしないまま走行されますと、接触不良の原因となり突然電源が切れる等の事象が起こる場合がございます。
- ⓘ **注意** 充電完了後は、充電アダプタ/電源コードを抜いてください。充電中はアダプターは発熱します。変形や異臭等、あきらかな異常を感じた場合は、直ちに充電をやめ、販売店までお問い合わせくださいませ。また、ランプが点灯しない等ございましたらお問い合わせくださいませ。

マルチファンクションディスプレイ 取扱説明

⚠ 警告

安全に操作するために、ご使用前は必ずこの取扱説明書をお読み下さい。



バイクの乗り方①

⊗ 電源の入れ方・操作の仕方①



- ①電子キーセンサーにタッチキーを近づけてください。ヘッドライト・テールランプがつかます。
②真ん中のボタンを長押しして液晶ディスプレイ・モーター動力の電源が入ります。
※電源をオフにする際は②を長押し①のタッチキーで電源を落とします。



- ①ハイビーム切替スイッチ ②ウィンカースイッチ ③ホーンスイッチ ④ヘッドライト切替スイッチ
⑤パーキングスイッチ ⑥変速ギア(自転車モード・ハイブリッドモード用) ⑦アクセルレバー
※④ヘッドライト切替スイッチ：右から通常モード・夜間モード・フォグランプモードです。夜間モード、
フォグランプモードの場合に、①のスイッチにてハイビームの切替を行います。



メモ

●変速ギアは、いわゆる自転車の変速ギアです。自転車モード、ハイブリッドモード時に使用します。電動バイクモード時は使用しません。通常の自転車同様、走行しながら操作して下さい。停車時の操作はチェーンが外れる等、故障の原因となります。

●誤作動防止の為、電源を入れた直後やしばらく停止していた際に、アクセルレバーを回しても動かない仕様となっております。パーキングスイッチを押す又は、両方のブレーキをグッと握る事によりアクセルレバーのロックが解除されます。

バイクの乗り方②

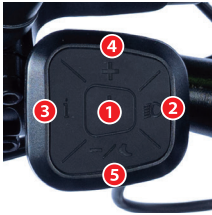
⊗ 電源の入れ方・操作の仕方②



▼スマートキー

通常使用するスマートキーは、マークが赤色です。複数枚、予備として同梱しております。青いマークの物は、マスターキーです。万が一すべて紛失してしまった際にこれで複製可能です。紛失しないよう注意してください。

▼操作ユニットボタン



- ①電源ボタン / 長押しで電源のオンオフ
- ②ディスプレイの明るさを切り替える
- ③ディスプレイの表示内容を切り替えるボタン
- ④パワーランク プラスボタン：パワーランクを上げるボタン
- ⑤パワーランク マイナスボタン：パワーランクを下げるボタン

●パワーランク

[MIRAI] 0：自転車モード / 1：約31km/h / 2：約48km/h / 3：約67km/h
 [MIRAI S] 0：自転車モード / 1：約25km/h / 2：約36km/h / 3：約49km/h
 ※バッテリー満タンで空回し状態の速度の「目安」です。

▼液晶ディスプレイ



- ①スピード
- ②パワーランク
- ③バッテリー残量
- ④ODO：総マイレージ TRIP：シングルマイレージ
MAX：最高速度 AVG：平均スピード

※バッテリーの残量表示は目安です。電源を入れた直後は減っていても満タンを表示する場合がございます。



メモ

●著しく急な坂道等を10分間程アクセルのみで走行するなど、モーターへ極度の負担をかけた場合、配線等の焼き付きを防止する為に保護機能が働き、モーターの作動を停止いたします。2～3分停止後に、保護機能が解除されます。その後、運転再開して下さい。

※モーターへの負担を減らす為に著しく急な坂道ではペダルを併用する事をおすすめします。

ハイブリッド・電動バイク・自転車モードの走行

▼ハイブリッドモードの走行 ※ハイブリッドモードでも法律上はバイクと同様の扱いとなります。



➤ タッチキーを操作します。



➤ 電源を入れ、パワーランクを操作して下さい。



➤ ペダルを漕いでハイブリッド走行スタート。

▼電動バイクモードの走行



➤ タッチキーを操作します。



➤ 電源を入れ、パワーランクを操作して下さい。



➤ スロットルを回すと、電動バイクモードです。

●誤作動防止の為、電源を入れた直後やしばらく停止していた際に、アクセルレバーを回しても動かない仕様となっております。パーキングスイッチを押す又は、両方のブレーキをグッと握る事によりアクセルレバーのロックが解除されます。

▼自転車モードの走行 ※自転車モードでも法律上はバイクと同様の扱いとなります。



➤ タッチキーを操作します。



➤ 電源を入れ、パワーランクを0にします。



➤ 普通の自転車のように走行します。

※ディスプレイの電源を入れずに走行する場合も自転車モードとなります。

日常点検チェック

⚠ 警告

バイクは、ご使用に伴い各部が傷んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用頂く為に、乗車前に必ず点検・整備をお願いします。



前輪を足で固定してハンドルを動かした時に、力を入れてもハンドルが回ったり抜けたりしないか。



スロットルを回した時にスムーズに戻るか。※必ず電源を切った状態で行う事。



ブレーキは正常か。握った際に、グリップとレバーの隙間が1/2～1/3になるまでにロックするか。



前輪後輪のネジに緩みはないか。



ペダルに上下左右方向から力を加えた際、ガタつきは無いかな。



サイドスタンドのネジがしっかり固定されているか。



赤丸箇所の裏側に、スタンドの長さを調整できるネジがございます。しっかり固定されているか確認してください。



適正空気圧：160～180kpa

タイヤの空気圧は適正か。指で押した際、若干へこむ程度が適正です。また深い傷はないか、溝の深さは1mm以上あるか。



バイクを押し歩いた際クランクの作動は正常か。※前進した際、クランクは回らない。後退した際、クランクは回る。

組立直後と日常点検チェック

⚠ 警告

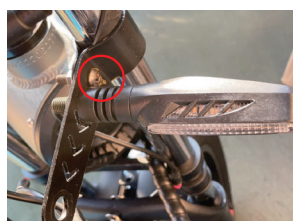
バイクは、ご使用に伴い各部が傷んだりネジがゆるんだりしてきます。これらを放置して使用を続けると大変危険です。安全にご使用頂く為に、乗車前に必ず点検・整備をお願いします。



テールランプやナンバープレートを止めているネジに緩みはないか。



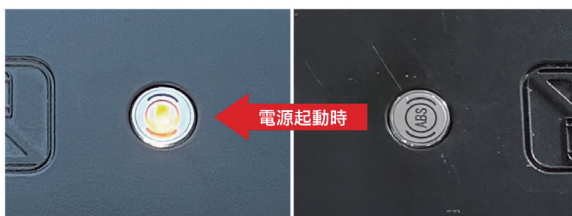
リアフェンダーを止めているネジに緩みはないか。



ウィンカー部分を止めている金具のネジに緩みは無いか。

MIRAI二種モデル ABS装置について

COSWHEEL MIRAI 1000wモデルにはABSが装備されております。普段のブレーキは、軽く握る程度で十分な制動力がございます。ストップするたびに急ブレーキをかける等、不必要なABSの作動はバッテリーの消費につながります。ご注意ください。



・車体の電源ONと同時に、車体の真ん中にある黒いコントローラーボックス上部のABSランプが黄色に点灯し作動音がします。走行中は黄色の点灯が消えます。ABSにエラーが起きた場合は黄色のランプが点滅いたします。（ABSのエラーが起きた場合でも、ブレーキは普通に動作いたします。）エラーが発生した場合は販売店・整備店にご相談下さいませ。

・電源が入っていない状態ではABSは作動しません。

点検・整備項目

! 警告 以下の点検項目を参考にして、定期的に点検を行ってください。

! 注意 異常を感じた場合、整備店にて点検を受けてください。

点検項目	点検期間						
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
	2ヶ月	6ヶ月	1年	1年半	2年	2年半	3年
アシスト機能は正常に作動するか。異音がしないか。							
モーターからグリス漏れはないか。							
電気配線の接続部にゆらみ、傷は無いか。							
コードの断線が無いか、フレームへの取付は適切か。							
バッテリーの取付け状態は確実か。							
表示ランプは点灯するか。							
バッテリーの消耗が早くなっていないか。							

故障かな？と思ったら

こんなときは	ご確認ください	対処方法
電源が入らない。	充電されていますか？	バッテリーを充電して下さい。
	バッテリーは通常通り装着されていますか？	バッテリーを奥まで差し込み、バッテリーキーを閉めて下さい。
電源は入るが、モーターが動かない。 (操作スイッチは表示されて、バッテリーの残量も十分であることが表示されている)	ブレーキをかけていませんか？	発進時はブレーキをかけないで下さい。ブレーキレバーがしっかりと戻っている事を確認して下さい。
	パーキングブレーキスイッチを解除しましたか？	前後のブレーキレバーをグッと握る、又はパーキングレバースイッチを押して下さい。
バッテリーが満充電状態ではないのに充電ができない。	バッテリーと充電アダプターが正しくセットされていますか？	全てのコネクタ・コードを一旦抜いて、もう一度接続し直して下さい。
走行距離が短い	充電されていますか？	バッテリーを充電して下さい。
	バッテリーを長期間使用せずに放置していませんか？	充電が完了したバッテリーでも長期間使用しなかった場合は自然に放電してしまうため、残量が無くなっている事があります。
	坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしませんでしたか？	道路条件や荷重等により、走行距離が短くなります。
	気温は低くないですか？	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えている為、バッテリーの特性上、容量が低下したり、走行距離が短くなります。
	気温は高くないですか？	高温で放置した場合は、バッテリーの残量が減少する事があります。
	使い込んだバッテリーを使用していないですか？	バッテリーの寿命と思われます。新しいバッテリーをご購入頂き交換して下さい。

故障かな？と思ったら エラーコード一覧

エラーコード	原因	初期確認	対処方法
error22	アクセル及びアクセルの配線関係	配線の破れなどがないかをチェック、コネクタの針の歪みがないかをチェック、配線のコネクタの差し直しでエラー解消ができないかをチェック。	①アクセル交換 ②アクセルの配線交換
error24	モーター配線及びコントローラー側配線関係		①モーター配線交換 ②モーター交換 ③コントローラー交換
error25	ブレーキ関係配線及び、コントローラー側配線関係		①ブレーキセンサーの配線交換 ②コントローラー交換
error30	通信エラー(ディスプレイ、モーター、アシストセンサー、コントローラー等が原因として考えられる)		原因が複雑で特定が難しい。 ①ディスプレイ ②モーター ③アシストセンサー ④コントローラー等

製品仕様

車両型式	COSWHEEL MIRAI	COSWHEEL MIRAI S
モーター出力	1,000W (原付二種Ver.)	500W (原付一種Ver.)
ペダルアシスト	○	
制動装置型式 前 / 後	前後輪 / 油圧式ディスクブレーキ	
タイヤサイズ	20" x 4"	
車両重量	約 35kg ※1	
サスペンション 前 / 後	正立式 / リンク式モノサス	
最高速度	約60km ※2	約45km ※2
最長航続距離 <small>標準装備 20Ahバッテリー</small>	約40~50km ※3	約50~60km ※3
最長航続距離 <small>オプション品 27.5Ahバッテリー</small>	約50~60km ※3	約70~80km ※3
公道走行	○	
私有地走行	○	
バッテリー出力	48V/20Ah	
充電時間	約 6 時間 ※4	
本体サイズ	全長1630×全幅 600×全高1050mm シート高770mm	

※1.重量はバッテリーを抜いた重量です。

※2・3.運転者の体重、運転の仕方、走行状態、気温、気圧等で変化します。それによって走行可能距離や、最高速度は変化します。

※4.充電時間はバッテリーの残容量により変わります。

製品保証

●本保証書の記載の内容に従い、お買い上げの電動バイクを保証いたします。

【保証規定】

- 1.本規定は、出荷後の保証を当社が定めたものです。
- 2.本規定は、日本国内での使用のみに適用されます。日本の道路運送車両法に基づき製造、販売しております。日本国外への持ち運び、使用は一切できません。
- 3.各部品の不良等は保証期間に基づき対応致します。

【保証期間】

保証を受ける際、ご購入の日から1年になります。走行距離が3,000kmを超えた際は期間に関係無く保証の対象外となります。

※製品のお届けから2週間以内の不具合は症状を確認後、初期不良として部品の交換や車体の交換、またそれにかかる工賃や送料等は弊社が負担させていただきます。

※部品によって保証期間が異なります。

※タイヤ、チューブ、パルプ、ペダル、ブレーキ等の消耗品は保証の対象外となります。

※取り付け工具等のサービス品は保証の対象外となります。

※分解、改造は保証の対象外となります。

【保証対象部品】

本体/バッテリー（60%以下に低下しない事）/モーター/ハンドル/ナンバー灯/アダプター/液晶ディスプレイ

※正しい使用方法にて使用し、不良が発生した場合のみ保証させていただきます。

【保証範囲】

本製品が保証期間内に正常な使用状態で保証規定により1年間の修理または交換対応をいたします。

※部品代は弊社が負担いたしますが、工賃と送料はお客様負担となります。

保証対象外となる項目は以下のような場合があります。

- 1.製品保証書が無い場合。もしくは中古車販売、個人売買により製品を所有した場合。
- 2.取扱上での輸送中の落下、取扱が不適当なため生じた故障並びに損害の場合。
- 3.他製品を接続した事による故障、動作確認を行っていない機器やケーブルを接続したことによる故障の場合。
- 4.不適当な使用環境、保管状況によって起こる故障、消耗品の交換。
- 5.砂利、砂利道等の舗装されていない道路を長期間走行したことによって発生した部品の不良、故障、部品の損傷。
- 6.経年劣化によって発生する不具合（塗装面の剥がれ、メッキ部分のサビ等）
- 7.走行上問題の無い、使用環境、使用状態、保管状況によって左右される現象（音、振動、バッテリー充電容量の低下）。
- 8.製品の分解、修理、改造によって発生した故障や損傷など。
- 9.地震、噴火、津波などの天災や、戦争などの紛争による損害。

※保証内容に関しましては次ページも良くご覧下さいませ。

【次に示す費用は負担致しかねます】

- 1.修理に対する保証対象部品の修理にかかった工賃
 - 2.法定に定められた継続検査に伴う点検整備の費用
 - 3.本製品が使用できないことによって発生した損失、費用
 - 4.本保証書に示す以外の費用、保証など
-

【お客様に守って頂きたい事項、免責事項】

- 1.製品を正常に使用していただくためには、必ず製品の日常点検を行って頂く必要があります。点検を怠った事が起因として発生した故障、修理に関しては保証対象外となりますので必ず実施して下さい。
 - 2.法令で定められた点検、整備は必ず実施して下さい。お客様にて点検ができない場合、お近くのバイク取扱店、販売代理店または当社へご相談下さい。
 - 3.製品寿命、経年劣化、過度な連続運転による製品の故障、外観の変色、モニターの画面の焼きつき（画面ムラ）は保証対象外となります。
-

【修理について】



- 1.出張修理は行っておりません。保証対象となった場合でも商品発送に掛かる費用は負担致しかねます。
- 2.当社にて修理を行い、費用が発生した場合、当社へ修理代金のお支払いを頂いたことを確認してからの返送になります。

※店整備・修理店の場所につきましては下記リンク先よりご確認くださいませ。（修理の項目がある店舗が修理可能店です。）

<https://coswheel.jp/partner.html>

製品のカラー、仕様、価格は都合により予告なく変更される場合がございます。
製品のカラーは実際のカラーと若干異なる場合がございます。
製品のデータ、写真等の無断転用はお断りいたします。

保証書

お客様	ご住所			
	フリカナ			
	ご氏名			
お買上げ車	お買上げ日		ブランド名	
	車種名		カラー	
	サイズ		車体番号	
メーカー	 COSWHEEL			
	SHENZHEN COSWHEEL TECHNOLOGY CO., LIMITED			
	Tel: 0755-86564885	Fax: 0755-86564885	Email: support@coswheel.com	
	Address: Room 809, Unit C, Block A, Huameiju, Zone 82, Haiyu Community Xin'an Street, Bao'an District, Shenzhen			
	 Acalie Make and Spread More Enjoyment			
日本代表代理店	株式会社Acalie https://coswheel.jp/ 〒451-0034 愛知県名古屋市区樋の口町1-15 ホーワビル2階 Tel:0572-56-1792 Fax:052-308-6589 Email:service@ali-jp.com			
				

リアウィンカーのリレーを外す方法

警告 感電のおそれがございますので、電源を切った上で作業をお願いします。

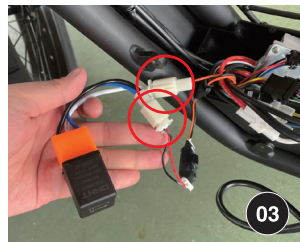
メモ 一部リアウィンカーの不規則な点滅が発生する場合がございます。気になる方は、下記手順で部品を外してください。ウィンカーの音は無くなりますが、規則的な点滅になります。



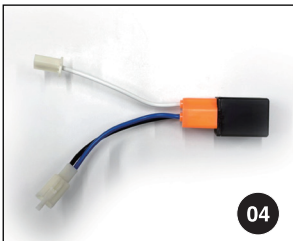
➤ ねじを3つ外し、カバーを取り外します。



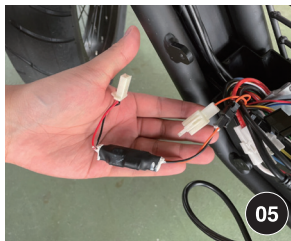
➤ ねじを5つ外し、カバーを取り外します。



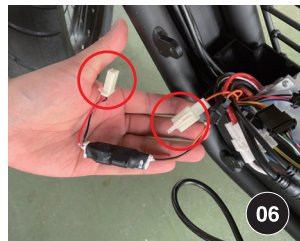
➤ 画像の赤丸部分を2箇所、外します。



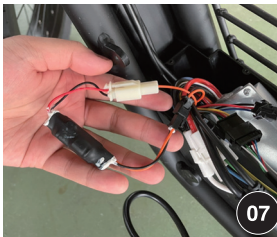
➤ 写真の部品を取り外します。捨てずに保管して下さい。



➤ 部品を取り外した後です。



➤ 外した部分(赤丸)を繋げます。



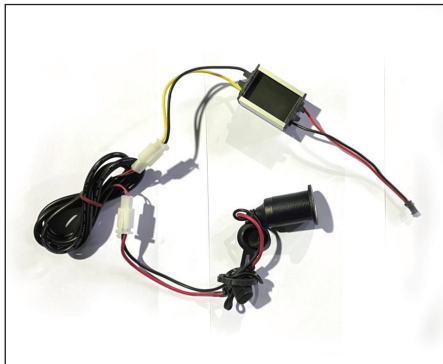
➤ 完成です。ウィンカーの動作を確認後、カバーを戻してください。

拡張パーツについて

拡張パーツとして48Vから12Vへの変換パーツを同梱しております。変換先はシガーソケットになりますので用途に応じてご利用ください。災害時のいざという時や、オリジナルカスタマイズをお楽しみください。



48Vの変換元コネクタは前方フレーム下にある螺旋状の配線カバー内にございます。(コネクタは絶縁テープで保護されています)



拡張パーツは画像のように接続し使用します。